



Time schedule

10:00	セミナー 1	セミナー 2	セミナー 3	ワークショップ 1	ワークショップ 2	ワークショップ 3
12:00	全体会 12:15-12:45 1.開会行事・功労者の紹介 2.NHKプレゼンテーション					
12:45	昼休憩					
13:30	実践発表 1	実践発表 2	実践発表 3	実践発表 4	実践発表 5	実践発表 6
15:10	発表 A 13:30～14:10 発表 B 14:15～14:55 講師ミニ講演 15:00～15:10					



申し込み・参加方法

参加費 1,000円

下記の URL からお申し込みください。

<https://www.ave-hoso-2023.net/form>



1. お申込み完了後参加 ID とパスワード及び大会 Web サイトの URL をお知らせします。
2. 大会当日は、大会 Web サイトにアクセスしていただき、ID とパスワードを入力してご参加ください。
3. 大会 Web サイトへのアクセス、Zoom への接続の通信料は参加者にてご負担ください。
4. 情報モラルの観点で ID とパスワードは個人で管理してください。
5. 10 月下旬、大会 Web サイトに大会要項を掲載します。(随時更新します)

問い合わせ先 お問い合わせは下記メールアドレスへお願いします。

全国放送教育研究会連盟事務局

〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

NHKメディア総局展開センター内

TEL:03-5455-4310 FAX:03-3481-1372

<http://www.zenporen.jp/taikai>



一般財団法人 日本視聴覚教育協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11

虎ノ門PFビルB1

TEL:03-3431-2186 FAX:03-3431-2192

<https://www.javea.or.jp/soutai/>



問合せメールアドレス taikai@javea.or.jp

令和5年度

第27回 視聴覚教育総合全国大会 第74回 放送教育研究会全国大会

合同大会

今年も豊富なLine UP!!
詳しくはP2-3をCheck it out!!

参加費 1,000円

申し込み方法は4ページ参照



大会テーマ

未来社会に向けて
生涯にわたる学びを支える
メディア活用

令和5年(2023年)

11月11日 土

オンライン開催

AM ワークショップ
セミナー

PM 実践発表

令和5年5月、私たちは3年以上にわたり様々な活動を制限された、新型コロナウイルス感染症という長いトンネルをようやく抜け出すことができました。そして、子供たちの日常も大きく変化しました。学校は、飛躍的に進んだ ICT 環境を駆使し、society5.0 社会へと日々加速する身の回りの変化に対応する、新たな「学び」の創出に取り組んでいることと思います。そのような時代だからこそ、ICT 機器の活用等に長い実績があり親和性も高い「視聴覚教育・放送教育」の果たす役割は益々高まっていると感じています。今年度の大会も、全国各地からより多くの方に全国各地から参加いただけるようオンラインで開催いたします。皆様の参加を心よりお待ちしております。

主 催 全国放送教育研究会連盟 NHK
視聴覚教育総合全国大会連絡協議会
(日本学校視聴覚教育連盟 全国高等学校メディア教育研究協議会 全国視聴覚教育連盟
一般財団法人日本視聴覚教育協会)

共 催 一般財団法人NHK財団

後 援 総務省 文部科学省 こども家庭庁 東京都教育委員会 日本教育メディア学会 日本教育工学会
日本教育工学協会 日本視聴覚教具連合会 (公社)映像文化製作者連盟

AM

ワークショップ・セミナー 10:00~12:00



AM

セミナー 1

個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた
放送番組およびICT機器の活用10:00~
12:00講
師園田学園女子大学
堀田 博史

講師の堀田先生に加え、実践者に登壇していただき、テーマである「個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた放送番組およびICT機器の活用」について授業実践を紹介してもらいます。堀田先生のコーディネートのもと、実践への質疑応答や議論を深めるワークを通して、授業改善に役立つヒント（GIGA端末の活用、放送番組の効果的な活用、新しい授業スタイル等）をお届けいたします。

セミナー 2

1人1台端末時代だからこそ考えたい、
教材コンテンツのあり方10:00~
12:00講
師敬愛大学
阿部 学

様々なデジタル教材を簡単に探すことができる時代となりました。本セミナーでは、その中からキラリと光る教材を見つける目や、効果的な教材を自作する際のヒントなどについて考えていきます。ゲーム性のある教材や、マンガ形式の教材など、講師が開発に関わってきたユニークな「動画教材」をいくつか取り上げ、開発の裏側（工夫やこだわり）について解説します。

セミナー 3

視聴覚教育関係者が知っておきたい
著作権の最新動向10:00~
12:00講
師福岡教育大学
大和 淳

著作権法は、著作者の権利を守るとともに、正しい著作物の利用に関する指針となります。近年のデジタル化・ネットワーク化の急速な進展により、創作や流通、利用の環境が大きく変化し、著作権もそれに合わせて改正されています。本セミナーでは、福岡教育大学教授で元文化庁著作権課課長補佐の大和淳先生に、最新の著作権についての動向を解説していただきます。

ワーク
ショップ 1放送番組+ことばを紡ぐ
SDGs教育実践のデザイン10:00~
12:00講
師明治大学
岸 磨貴子

SDGs教育への取り組みが進められる中、学びのリソースとして放送番組が活用されています。子どもが自分なりにテーマと出会いことばを紡いでいくためには、自分の視点を持つことが重要です。本セッションでは、子どもが自分なりの視点でSDGsを捉え、ことばにしていくためのアプローチについて、外国人児童が多く在籍する港区立南山小学校5年生の多文化共生の事例をもとに議論します。

ワーク
ショップ 2NHK for Schoolを活用した
デジタル絵本づくりのワークショップ10:00~
12:00講
師名寄市立大学 郡司 竜平
SOZO.Perspective 海老沢 穰

『キミなら何つくる?』を視聴し、身の回りのものを写真に撮ってキャラクターに見立て、デジタル絵本を創作しましょう。後半は番組視聴を通して、創作した絵本の発信についてアイデアを深めます。ICTを活用することで「絵を描くのは苦手だけどアイデアはたくさんある」といった子どもたちにも可能性が広がります。ワーク全般を通して、みなさんと一緒にアイデアや気づきを共有しながら進めていければと考えています。

ワーク
ショップ 3

SNS指導改善ワークショップ

10:00~
12:00講
師帝京大学
松波 紀幸

本ワークショップでは、担当講師が学生指導で培った教示と演習を体験いただきます。この経験を基に、児童・生徒へのSNS指導における改善策を共に練り上げます。ワークショップの前半では、具体的な指導方法を実践的に学びます。後半では、参加者の皆様がお持ちの経験と知識を共有し、効果的な指導アプローチを共同で模索します。

全体会 12:15~12:45

1.開会行事(主催者挨拶、文部科学大臣祝辞)、功労者の紹介

2.NHKプレゼンテーション

PM

実践発表

A 13:30~ B 14:15~
講師ミニ講演 15:00~15:10

PM

	テーマ	講 師	発表者A (13:30~)	発表者B (14:15~)
1	情報活用能力の育成を 目指した番組活用	日本大学 中橋 雄	北海道教育大学附属函館小学校 菅原 拓	相模原市立南大野小学校 西岡 裕太
		司会:加藤 優子(川崎市立東柿生小学校) 記録:東森 清仁(横浜市立仏向小学校)		
2	番組活用で実現する 個別最適な学び・ 協働的な学び	茨城大学 小林 祐紀	川崎市立霞ヶ関東小学校 武井 佑樹	東京都立浅草高等学校 野村 洸真
		司会:関根 直樹(新座市立片山小学校) 記録:稲田 路子(杉並区立杉並和泉学園)		
3	番組活用で実現する 探究的な学び	鳴門教育大学 泰山 裕	和歌山市立和佐幼稚園 尾寄 英隆	安来市立安田小学校 野津 祐子
		司会:塚田 和明(千葉市立磯辺小学校) 記録:中井 健太(横浜市立新羽小学校)		
4	授業改善のための ICT活用 (中学校・高等学校における実践)	東京福祉大学 後藤 泰博	東京都立中野工科高等学校 中竹 祐輔	江戸川区立鹿本中学校 小張 幸宏
		司会:金田 隆(東京都立武蔵高等学校) 記録:木村 諭(葛飾区立奥戸中学校)		
5	GIGAスクール時代の ICT活用 (1人1台端末活用、 デジタルシチズンシップ、 プログラミング教育)	文京区教育センター 田中 克昌	小平市立花小金井小学校 岩瀬 悠太	八王子市立高倉小学校 松本 雄企
		司会:江口 千穂(北区立王子第二小学校) 記録:赤嶺 富美子(練馬区立大泉東小学校)		
6	自作教材のデジタル化	全国視聴覚教育連盟 丸山 裕輔	仙台市教育局 間宮 智也	全国視聴覚教育連盟専門委員/ 東映(株)教育映像部・中鉢 裕幸
		司会:丸山 裕輔(全国視聴覚教育連盟) 記録:村上 長彦(全国視聴覚教育連盟)		